

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2016/11/17

保育園から徒歩で三分。歩いて近所で、こまはいつもの遊び場所。子供達にとっては広いところは大好きです。ゴミを捨てるよりは走り廻るのりが、ほとんどの子ども達でもこれ。が子ども達にとっては体験なのです。この様な公園の場所では、ストレス解消にはありませんか！

三十八年十一月十七日
 川南保育園
 大塚公園
 きれいにしよう
 私達の遊び場所！



2016/11/17

人間環境自然活動！自然がカラダのは秋には木の葉が赤や黄に変わります。冬は落葉になぞ、みんなの足元に落ちます。でもそれは、土に返って消えてゆきます。人が捨てたビンやカンタンの吸いかけは消えてゆきません。それは人間が作ったものも人間が食べたりのんたりの吸ったリして汚れているのです。そしてそのゴミを捨てるのは人間です。どうしたらよいのですか。人が見ていなければ捨ててしまていいのですか。よく考えてみまう。恥かしくないように勉強しよう。

この大塚公園は他の保育園の近くの公園より環境にめぐまれていいます。森林の四季がよめるからです。春、生きものが深い眠りからさめて動きはじめます。夏、生きものが活発に動きまわります。



2016/11/17

秋、生きものが冬感しの生きものが厳しい準備にかかりまう。寒さにたえて春を待ちます。

子ども達が今までもとはさめられた心を守ること。まあるく水をやりましよう。

二級捨ま長。



2016/11/17

タコノ吸いから挟めるが、小さいゴミ見つけたの、まー！



2016/11/17